

目ざまし時計

電波クロック

取扱説明書

この度は弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

この取扱説明書の内容は、将来予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。

本製品によって生じた、いかなる支出、損益、その他の損失に対して、弊社は一切の責任を負いません。

この取扱説明書の内容の一部またはすべてを、製造者の許可なく転載・変更・複製することは禁じられています。

本製品、またはアフターサービスなどについてご不明な点がありましたら、製品の裏面または底面に表示されている製品番号（品番）をご確認のうえ、下記クロックお客様相談室にお問い合わせください。

（例：SQ○○○、BC○○○、NR○○○など）

クロックお客様相談室 0120-315-474

<https://www.seikowatches.com/jp-ja/>

発売元

セイコーウォッチ株式会社

説明書番号 FSQ-164W-A

必ずお守りください 安全上のご注意

⚠ 警 告 死亡または重傷を負う恐れがある内容

<アルカリ電池について>

- 充電、ショート、変形、分解、加熱、火中に投入などをしないでください。液漏れや発熱、破裂の原因となります。
- 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合は、きれいな水で洗い流してください。また、目に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

<梱包用ポリ袋について>

窒息する恐れがありますので、ポリ袋を絶対にかぶらないでください。

<液晶パネルについて>

液晶パネルが破損すると、破損した部分から液晶（液状）が漏れたり、ガラスの破片が飛び散ることがありますので、十分注意してください。万一、以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合
付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合
きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄した後、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合
水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出した後、医師の診断を受けてください。

⚠ 注 意 けがをしたり家財に損害を与える恐れのある内容

<製品の設置場所について>

落下や転倒により、けがをしたり器物を破損する恐れがありますので、振動のある場所や、不安定な場所には本製品を設置しないでください。

<電池について>

下記の注意事項を必ず守ってください。電池の使い方を間違えると、液漏れや破裂により、本製品の故障やけがの恐れがあります。

- 製品仕様に記載された電池寿命を経過した場合は、本製品がまだ動いていても、すべて新しい電池と交換してください。また、本製品を使わないときは、電池をすべて取り外してください。電池を入れたままにしておくと、寿命の切れた電池からの液漏れなどにより、本製品や周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
- 電池は必ず $\ominus$ 側から入れてください。また、 $\oplus$ $\ominus$ を正しく入れてください。
- 付属の電池は充電式ではありません。充電すると液漏れや破裂の恐れがあります。
- 電池に直接ハンダ付けしたり、水滴を付けたりしないでください。
- 直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所を避けて保管してください。また、使用済みの電池は速やかに処分するか、幼児の手の届かない所に保管してください。
- 本製品が動かないなどの場合、電池の端子が汚れていることがあります。そのときは、やわらかい布で乾ぶきしてください。
- 付属の電池は、工場出荷時に同梱された電池です。お買い上げ後、製品仕様の年数に満たないうちに電池寿命が切れることがあります。
- 充電式電池や初期電圧が高い電池を使用しないでください。正常に動作しなかったり、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

<分解や改造をしない>

本製品を分解したり、改造したりしないでください。本製品の故障やけがの恐れがあります。

<製品と電池の廃棄について>

お住まいの自治体の定める規則に従い、廃棄してください。

保証・アフターサービス

- 本製品はメーカー保証です。保証の内容については付属の保証書をご覧ください。なお、保証書は日本国内のみ有効です。また、アフターサービスも日本国内のみの対応となります。
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、販売店がお預かりし、メーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名が捺印された保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品、および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 本製品の修理用部品は、製造終了後3年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。修理用部品とは、製品の機能を維持するために不可欠な製品本体の部品です。なお、修理可能な期間は、ご使用条件により異なります。また、修理可能な場合でも、元どおりの精度とまらない場合があります。販売店とよくご相談ください。
- 修理の際、部品・その他の付属品は、一部代替部品または再生品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- 有料修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃など、諸費用をお客様にご負担いただきます。なお、修理代金が標準小売価格を上回る場合があります。あらかじめご承知ください。
- 保証期間中・経過後ともに、修理を依頼されるときは本製品を販売店にご持参ください。販売店で保証が受けられない場合は、クロックお客様相談室にご相談ください。
- お客様が本製品を分解されると、修理不可能となる場合があります。また、保証の対象外となりますので、ご注意ください。
- ご不明な点は、クロックお客様相談室にお問い合わせください。

必ずお読みになってからご使用ください

使用上のご注意

- 本製品にはマイコンが内蔵されています。静電気などにより誤動作することがありますが、故障ではありません。誤動作した場合は、リセットボタンを押してください。リセットボタンを押した場合は、時刻などがリセットされます。
- 本製品は日本標準電波仕様のため、海外では電波修正機能は使用できません。
- 電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。

<温度・湿度表示について>

- センサーが製品内部にあるため、製品周囲の温度・湿度が変化しても表示が変わるまで時間がかかります。
- 温度・湿度が次のような状態になったときの表示
・温度：－30℃より低い「Lo」／60℃より高い「Hi」
・湿度： 20％より低い「Lo」／90％より高い「Hi」
ただし、湿度表示は温度が0℃～60℃以外の状態では「—」と表示されます。

<液晶パネルについて>

- 見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなることがあります。
- 温度が高くなると液晶パネル面が黒くなり、判読できなくなることがあります。
- 次の場合、静電気や圧力を加えることにより、黒い線・しみ・縞模様が発生することがありますが故障ではありません。しばらく放置しますと元に戻ります。
・表示部のシールをはがしたり、乾いた布などでふいたとき
・指などで液晶パネルを押したとき

使用場所について

下記のような場所では使用しないでください。本製品や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。

また、本製品は業務用ではありません。

- 温度が50℃以上になる所や直射日光の当たる所。
（例）屋外、または暖房器具などの熱風や火気に近い所。
- 温度が－10℃以下になる所。
プラスチック製の部品や電池が劣化することがあります。
- ちり・ほこりの多い所。
- 大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
磁力の影響で、進み・遅れが生じたり、時計が止まることがあります。
- 浴室など湿気が多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接当たるような所。
- 振動のある所。不安定な所。
- 工場、台所など、多くの油を使用する所。
- ビニール系素材の壁、敷物などの上。
壁や敷物、および本製品が汚れたり傷むことがあります。
- 温度や湿度の変化が激しい所。
寒い所から暖かい所への移動などにより、結露が生じることがあります。

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などに設置してください。なお、天候、時間帯、建物の影響など、次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。場所を変えてご使用ください。

- ビルの中、ビルの谷間、地下
 - 高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く
 - テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリなどの家電製品やOA機器の近く
 - 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害が起きやすい所
 - 乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
 - スチール机など、金属製の家具の上や近く
 - その他、電波ノイズを発生させるものの近く
- ※ 電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で動作します。

お手入れについて

- 本体を清掃するときは、湿った、やわらかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少量、やわらかい布に含ませてふいてください。その後、やわらかい布で乾ぶきしてください。
- お手入れの際、ベンジン、シンナー、アルコール、磨き粉、各種ブラシなどは使用しないでください。また、殺虫剤、ヘアスプレーなどがかからないようにしてください。変色したり、傷が付く恐れがあります。

付属品

ご使用の前に確認してください。

- 取扱説明書（別紙補足含む）2枚
- 保証書 1枚
- モニター用電池（単3形乾電池）2個
- ※付属の電池は、工場出荷時に同梱された電池です。お買い上げ後、製品仕様の年数に満たないうちに電池の寿命が切れることがあります。

電波クロックについて

■電波時計／電波修正機能とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に時刻を修正・表示します。

■標準電波とは

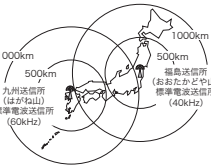
情報通信研究機構（NICT）が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2カ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10年間に1秒の誤差という超高精度を保つ『原子時計』によるものです。

■電波受信について

標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所（東・西2カ所）からおおむね1000km～1200kmです。この製品は40kHz（東・福島送信所）、60kHz（西・九州送信所）のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、設置場所、時計の向き、時間帯、地形、建物の影響などによって受信できない場合があります。

■ご注意

- 電波障害などによって、誤った時刻が表示される場合があります。また、設置場所や電波状況によっては受信できないことがあります。そのようなときは、場所を変えてお使いください。
- 電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で動作します。
- 標準電波は、毎時15分と45分から各1分間は一部の時刻情報の送信が中断されます。また、設備のメンテナンスや落雷などの影響により電波の送信が停止（停波）することがあります。停波に関する情報は、情報通信研究機構日本標準時グループのホームページをご覧ください。（ホームページアドレス <https://jijy.nict.go.jp/>）



故障かな？と思ったときは

本製品が正常に動作しないときは、修理を依頼される前に、以下の表を参考に対処してください。なお、新しい電池と交換する場合は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

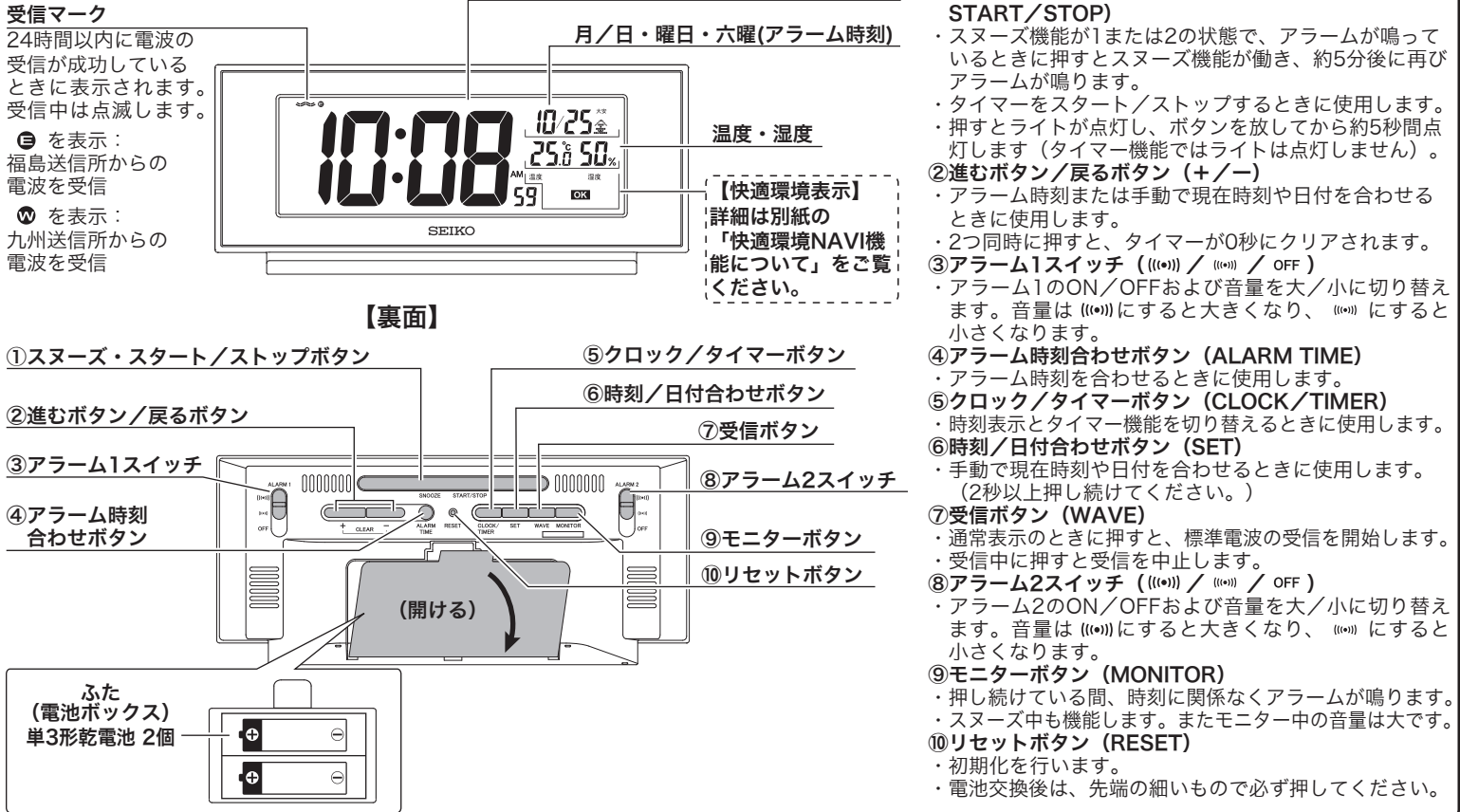
症 状	考えられる原因	処 置
表示が出ない	・電池が入っていない。 ・電池の容量が少なくなっている。	・新しい電池を、向きを確かめながら入れてリセットボタンを押してください。
時刻またはカレンダーの表示が欠けている	・電池が正しい向きに入っていない。 ・きちんとリセットされていない。	・電池を正しく入れ直して、確実にリセットボタンを押してください。
時刻またはカレンダーが合っていない	・電池の容量が少なくなっている。 ・きちんとリセットされていない。	・新しい電池を、向きを確かめながら入れてリセットボタンを押してください。 ・「電波を受信できなかった場合」をお読みになり、再度受信させてください。
アラームが鳴らない	・アラームスイッチがOFFになっている。 ・電池の容量が少なくなっている。 ・タイマーを使用している。	・アラームスイッチをONにしてください。 ・新しい電池を、向きを確かめながら入れてリセットボタンを押してください。 ・タイマーを停止し、時刻表示にしてからアラームスイッチをONにしてください。
▲▼が表示されている 湿度が変わらない	・部屋の温度(湿度)のバランスがくずれている。 ・空気が循環していない。	・温度(または湿度)を高(または低)く調節してください。 ・空気が循環する場所に設置してください。

製品仕様 改良のため予告なく変更する場合があります

時 間 精 度：	平均月差±30秒（気温5℃～35℃で使用した場合） （電波受信による時刻修正を行わない場合） 表示誤差±1秒（電波受信による時刻修正を行った直後）
使用温度範囲：	－10℃～50℃（液晶表示部 判読可能温度範囲：0℃～40℃）
タ イ マ ー：	カウントダウン… 最大設定 99分50秒 カウントアップ… 最大計測 99分59秒
ア ラ ー ム：	設定2つ、ダングントーン（だんだんデンプが速くなる電子音） 音量切替（大/小）、約5分間オートストップ、選べるスヌーズ機能（スヌーズは何回でも繰り返すことができます）
カ レ ン ダ ー：	2000年1月1日～2099年12月31日のフルオートカレンダー（月、うるう年とも修正不要）
六 曜 表 示：	2000年1月1日～2030年12月31日
温度表示精度：	±2℃（0℃～40℃の間）
湿度表示精度：	±8％（温度25℃で25％RH～85％RHの間）
表 示 内 容：	日付（月/日、曜日、六曜）、時刻（AM/PM表示による12時間制または24時間制表示）、周囲温度（℃）・湿度（％）
使 用 電 池：	単3形乾電池 2個
電 池 寿 命：	約1年 単3マンガン乾電池（R6P）を2個使用時 ※1日あたり、ライトを2回、アラームを10秒間使用した場合
快適環境NAVI機能：	温度・湿度から室内の状況を分析し、各種アイコンを表示
受 信 機 能：	・自動受信… 毎日午前2時、以後3時間ごとに受信（受信から次の受信まではクオーツの精度で動作） ・手動受信… ボタン操作による2つの電波（40kHz/60kHz）のうち最適な方を選択し、受信します。

※電池の寿命はご使用の条件によって変わります。

各部の名称



便利な機能

自動受信について

午前2時から3時間ごとに、自動で電波受信を行います。受信に成功すると現在表示している時刻、日付を修正します。

電波を受信できなかった場合

1. 電波を手動で受信させ時刻、日付を合わせる

- 「⑦受信ボタン」を押してください。標準電波の受信を開始します。
- 受信状態については、「ご使用方法」をご覧ください。
- うまく受信できない場合は本体の向きや場所をかえて、もう一度受信させてください。
- ご使用中に受信マークが表示されない場合は、使用場所の受信状態が良くないことが考えられます。
- 詳しくは裏面「電波クロックについて」をご覧ください。
- また、夜間は昼間にくらべて受信状態が良くなりますので、昼間に受信できなかった場合でも翌日までに自動で受信できる場合があります。

2. 手動で時刻、日付合わせ、スヌーズ機能を選ぶ

- 電波を受信できない場合は、手動で時刻、日付を合わせてご使用ください。
- 「⑥時刻/日付合わせボタン」を2秒以上押し続けてください。年表示が点滅します。
 - 「⑥時刻/日付合わせボタン」を押すごとに、下図のように順に表示が切り替わり、点滅します。
 - 「②進むボタン/戻るボタン」で日付や時刻を合わせてください。
 - 「②進むボタン/戻るボタン」を押し続けている間は早送りします。
 - 5分以上「②進むボタン/戻るボタン」が押されなかった場合は、自動的に通常表示に戻ります。
 - スヌーズ機能選択が終了したら、「⑥時刻/日付合わせボタン」を押してください。設定が完了します。

【通常表示】
普段はこの表示でお使いください。

【年合わせ表示】
「⑥時刻/日付合わせボタン」を2秒以上押し続けてください。
「②進むボタン/戻るボタン」で年を合わせてください。
年は2000年～2099年まで合わせられます。

- ①スヌーズ スタート/ストップボタン (SNOOZE START/STOP)**
 - スヌーズ機能が1または2の状態、アラームが鳴っているときに押すとスヌーズ機能が動き、約5分後に再びアラームが鳴ります。
 - タイマーをスタート/ストップするときに使用します。
 - 押すとライトが点灯し、ボタンを放してから約5秒間点灯します(タイマー機能ではライトは点灯しません)。
- ②進むボタン/戻るボタン (+/-)**
 - アラーム時刻または手動で現在時刻や日付を合わせるときに使用します。
 - 2つ同時に押すと、タイマーが0秒にクリアされます。
- ③アラーム1スイッチ (☎) / (📶) / OFF**
 - アラーム1のON/OFFおよび音量を大/小に切り替えます。音量は(📶)にすると大きくなり、(☎)にすると小さくなります。
- ④アラーム時刻合わせボタン (ALARM TIME)**
 - アラーム時刻を合わせるときに使用します。
- ⑤クロック/タイマーボタン (CLOCK/TIMER)**
 - 時刻表示とタイマー機能を切り替えるときに使用します。
- ⑥時刻/日付合わせボタン (SET)**
 - 手動で現在時刻や日付を合わせるときに使用します。(2秒以上押し続けてください。)
- ⑦受信ボタン (WAVE)**
 - 通常表示のときに押すと、標準電波の受信を開始します。
 - 受信中に押すと受信を中止します。
- ⑧アラーム2スイッチ (☎) / (📶) / OFF**
 - アラーム2のON/OFFおよび音量を大/小に切り替えます。音量は(📶)にすると大きくなり、(☎)にすると小さくなります。
- ⑨モニターボタン (MONITOR)**
 - 押し続けている間、時刻に関係なくアラームが鳴ります。
 - スヌーズ中でも機能します。またモニター中の音量は大です。
- ⑩リセットボタン (RESET)**
 - 初期化を行います。
 - 電池交換後は、先端の細いもので必ず押してください。



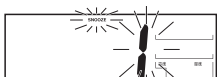
【月/日 合わせ表示】
「⑥時刻/日付合わせボタン」を押してください。
「②進むボタン/戻るボタン」で日付を合わせてください。
曜日は自動的に合わせます。



【時刻合わせ表示】
「⑥時刻/日付合わせボタン」を押してください。
「②進むボタン/戻るボタン」で時刻を合わせてください。
「②進むボタン/戻るボタン」を押した瞬間に、秒表示は0秒にリセットされます。



【12/24時間制選択表示】
「⑥時刻/日付合わせボタン」を押してください。
「②進むボタン/戻るボタン」で12時間制または24時間制を選んでください。



【スヌーズ機能選択表示】
「⑥時刻/日付合わせボタン」を押してください。
「②進むボタン/戻るボタン」でスヌーズ1(5分固定)、スヌーズ2(ステップダウン式)、スヌーズOFF(スヌーズなし)を選んでください。

「⑥時刻/日付合わせボタン」を押してください。
設定が完了し、通常表示に戻ります。

12時間制/24時間制、スヌーズ機能の選択について

時刻の表示方法およびスヌーズ機能を切り替えるときは、「電波を受信できなかった場合」の「2. 手動で時刻、日付合わせ、スヌーズ機能を選ぶ」にしたがって、12時間制または24時間制表示、スヌーズ機能を選んでください。(受信マークが表示されている場合、時刻の表示方法を切り替えると受信マークは表示されませんが、その後受信に成功すると再度表示されます。)

自動受信を止めるには

- この時計には自動受信を止める機能があります。(誤受信の防止や設定時刻をずらしてお使いになりたい場合等にご使用ください。)
- 時刻表示に「OFF」が表示されるまで、「⑦受信ボタン」を、8秒以上押し続けてください。
 - 「電波を受信できなかった場合」の「2. 手動で時刻、日付合わせ、スヌーズ機能を選ぶ」にしたがって時刻を合わせてください。
 - この機能を設定した後も「⑦受信ボタン」を押すと受信を行います。その後自動受信はしません。
 - この機能を解除するには、時刻表示に「ON」が点滅表示されるまで、「⑦受信ボタン」を8秒以上押し続けてください。

ご使用方法

安全上のご注意ならびにその他の注意事項をお読みのうえ、ご使用ください。表示部にシールが貼ってある場合は、ゆっくりはがしてください。
※静電気により黒い線、しみなどが発生することがありますが、しばらく放置しますと元に戻ります。

① 電池を入れる(単3形乾電池 2個)

本体裏面のふたを開けて、側から電池を入れてください。

注意

- 電池のの向きを間違えないように注意してください。
- 種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 充電式電池や初期電圧の高い電池を使用しないでください。正常に動作しなかったり、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

② 「⑩リセットボタン」を先端の細いもので押す

表示がすべてついた後、時刻「12:00 AM」となり、標準電波の受信を開始します。

重要 電池の交換後は、必ず「⑩リセットボタン」を押してください。

③ 時計を設置する

- 本製品を使用したい場所に置いてください。
※窓際などできるだけ受信しやすい場所でのご使用をお勧めします。
- 受信中は、☎マーク(または📶マーク)が点滅し、受信マークが受信状態に応じて変化します。
 - 受信に要する時間は最長約16分間です。

【受信成功】

受信マークが表示され、[月/日] [曜日] [時:分] [秒] が正しい日付と時刻に修正されます。
・受信成功後、正しく表示されているかをご確認ください。



【受信できない】

受信マークが表示されず、時刻、日付の修正は行われません。
「電波を受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時刻、日付を合わせてください。
・使用場所の受信状態が良くない場合は、数分で受信を中断することがあります。



④ アラームをセットする

【アラーム1をセットする】

- 「④アラーム時刻合わせボタン」を押してください。
アラーム1マークとアラーム1の時刻が点滅し、アラーム1の時刻合わせの状態になります。
※アラーム2マークが点滅している場合は、もう一度「④アラーム時刻合わせボタン」を押してください。アラーム2マークからアラーム1マークに切り替わり、アラーム1の時刻合わせ状態になります。
- 点滅中に「②進むボタン/戻るボタン」を押してアラーム時刻を合わせてください。
 - アラーム時刻合わせの状態で「②進むボタン/戻るボタン」を押し続けると早送りします。
 - 約5秒間押されない状態が続くと、自動的にアラーム時刻が確定します。
- 「③アラーム1スイッチ」をON (☎) / (📶) にしてください。
アラームマーク1が表示されます。
 - 日付がアラーム1の時刻に切り替わり、アラーム時刻になるとアラームが鳴ります。
 - ※アラーム2の時刻がアラーム1より先に鳴るようにセットされ、「⑧アラーム2スイッチ」がONの場合は、アラーム1の時刻を約5秒間表示した後、アラーム2の時刻が表示されます。

【アラーム2をセットする】

- 「④アラーム時刻合わせボタン」を押してください。
アラーム2マークとアラーム2の時刻が点滅し、アラーム2の時刻合わせの状態になります。
※アラーム1マークが点滅している場合は、もう一度「④アラーム時刻合わせボタン」を押してください。アラーム1マークからアラーム2マークに切り替わり、アラーム2の時刻合わせ状態になります。
- 点滅中に「②進むボタン/戻るボタン」を押してアラーム時刻を合わせてください。
 - アラーム時刻合わせの状態で「②進むボタン/戻るボタン」を押し続けると早送りします。
 - 約5秒間押されない状態が続くと、自動的にアラーム時刻が確定します。



- 「⑧アラーム2スイッチ」をON (☎) / (📶) にしてください。
アラームマーク2が表示されます。
 - 日付がアラーム2の時刻に切り替わり、アラーム時刻になるとアラームが鳴ります。
 - ※アラーム1の時刻がアラーム2より先に鳴るようにセットされ、「③アラーム1スイッチ」がONの場合は、アラーム2の時刻を約5秒間表示した後、アラーム1の時刻が表示されます。

【スヌーズ機能を選択する】

スヌーズ機能を選択するときは、「電波を受信できなかった場合」の「2. 手動で時刻、日付合わせ、スヌーズ機能を選ぶ」にしたがって、以下の3通りからスヌーズ機能を選びます。

スヌーズ1 (5分固定)	アラームを止めてから、約5分後に再びアラームが鳴ります。
スヌーズ2 (ステップダウン式)	アラームを止めてから、初めは約5分後に再びアラームが鳴ります。次にアラームを止めてから再びアラームが鳴るのは約4分後と、スヌーズの間隔が1分ずつ短くなります。(スヌーズ間隔: 5分→4分→3分→2分→1分→1分・・・)
スヌーズOFF (スヌーズなし)	スヌーズ機能は動きません。また「①スヌーズ スタート/ストップボタン」を押してもアラームは止まりません。アラームを止めるには「アラームを完全に止める」をご覧ください。

⑤ アラームを止める

アラームを止めるには3通りの方法があります。

【アラームを完全に止める】

アラーム1が鳴っているときは「③アラーム1スイッチ」をOFF、アラーム2が鳴っているときは「⑧アラーム2スイッチ」をOFFにして止めます。
・アラームマーク1または2が消え、アラーム時刻が日付表示に切り替わります。

【再度アラームを鳴らす(スヌーズ1、2の場合)】

「①スヌーズ スタート/ストップボタン」を押すとアラームが止まり、スヌーズ1の場合は約5分後に、スヌーズ2の場合はステップダウン式に再び鳴り出します。
・スヌーズ中にはアラームマーク1または2が点滅します。
・スヌーズ機能は何回でも繰り返すことができます。
※スヌーズ中に別の設定したアラーム時刻になったときは、スヌーズを中断し、その設定したアラームが鳴り出します。

【オートストップ機能】

アラームが鳴り始めてから約5分間でアラームは自動的に止まります。この場合、アラームマーク1または2は表示されたままとなり、翌日のアラーム時刻に再びアラームが鳴ります。

タイマーを使う

「⑤クロック/タイマーボタン」を押すと、表示が時刻からタイマーに切り替わります。

【カウントダウン】(最大設定時間: 99分50秒)

- 「②進むボタン/戻るボタン」を押して時間を設定してください。
 - 「②進むボタン/戻るボタン」を押し続けると早送りします。
 - 時間は10秒単位で設定できます。
- 「①スヌーズ スタート/ストップボタン」を押すとカウントを開始します。
- 0秒になると、タイマーアラームが約1分間鳴ります
 - アラーム中に「①スヌーズ スタート/ストップボタン」を押すとタイマーアラームは停止します。
 - ※タイマーアラームが停止した後は、設定した時間を表示します。
 - ※「②進むボタン/戻るボタン」を同時に押すと、時間が0秒にクリアされます。

【カウントアップ】(最大計測時間: 99分59秒)

- 「②進むボタン/戻るボタン」を同時に押して0秒にクリアしてください。
- 「①スヌーズ スタート/ストップボタン」を押すとカウントを開始します。
- 99分59秒の後は、0秒にクリアされ、タイマーは自動で停止します。

【ポーズ機能】

カウント中、一時停止させるときは「①スヌーズ スタート/ストップボタン」を押してください。再び押すと停止していた時間から再スタートします。
・カウントアップの一時停止のときに「②進むボタン/戻るボタン」を押すと、カウントダウン機能の時刻設定になります。

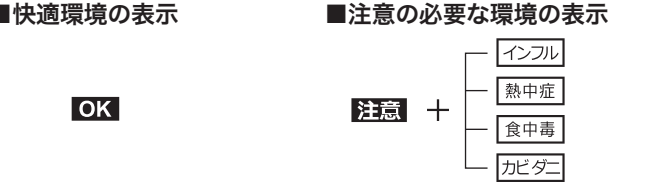
※タイマーを使用しているときは、時計のアラーム時刻になってもアラームは鳴りません。
※タイマーを使用しているときは、アラームスイッチをONにしてもアラームマークが表示されません。タイマーを停止し、「⑤クロック/タイマーボタン」を押して時刻表示に戻ったときに、アラームマークが表示されます。
※アラーム中やスヌーズ中に「⑤クロック/タイマーボタン」を押しても、表示が時刻からタイマーに切り替わりません。
※カウントアップ/カウントダウンが停止している状態で、5分以上「②進むボタン/戻るボタン」または「①スヌーズ スタート/ストップボタン」が押されなかった場合は、自動的に時刻表示に切り替わります。

快適環境NAVI機能について

特長

1 お部屋の環境がひと目でわかる

温度と湿度との関係から室内の環境を分析し、状況に応じて「熱中症」「季節性インフルエンザ」「カビ・ダニ」「食中毒」をアイコンで示して注意喚起をします。



2 快適な温度・湿度バランスヘナビゲート

温度と湿度のバランスが崩れている場合には、温度・湿度の調節の目安を「▲／▼」で表示し、快適な環境ヘナビゲートします。空調コントロールの目安としてご利用ください。



表示部

※説明のため、全アイコンを表示しています。

①温度／湿度
温度と湿度のバランスが崩れている場合には、温度・湿度の調節の目安を「▲」「▼」で表示し、快適な環境ヘナビゲートします。
▲：温度／湿度を上げる
▼：温度／湿度を下げる

②現在の室内状況をアイコンで表示
OK：
温度と湿度のバランスが保たれている状態です。
注意：
温度と湿度のバランスが崩れている状態です。

③室内環境注意表示
「熱中症」「季節性インフルエンザ」「カビ・ダニ」「食中毒」を示し、注意喚起をします。

① 温度 ▲▼ 注意 湿度 ▲▼
② インフル OK 食中毒
熱中症 カビダニ
③

※本製品は約30秒ごとに温度・湿度を自動で計測しています。設置場所を変えた場合や急激な温度・湿度の変化があった場合には、表示に反映されるまで時間がかかります。（電波受信中は、温度・湿度の計測を行いません。）

室内環境注意表示について

室内環境注意表示は、表示により発生の有無を断定するものではありません。あくまでも目安としてご使用ください。
※公的機関が発表する警報・注意報と一致しない場合があります。

設置場所について

空気が循環する場所に設置してください。
（湿度は空気中の水分の割合です。本機は室内の環境を分析しているため、必ず空気が循環する場所に設置してください。）
直射日光のあたる所や、冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くは避けてください。
※本製品は室内用です。日照下では正しく機能しない場合があります。

表示例

例1 熱中症・食中毒の注意

温度 32.0℃ 湿度 82%
注意
熱中症 食中毒
アイコンが表示されます。

温度、湿度ともに高い状態です。
熱中症・食中毒に注意しましょう。
環境の改善には、室温を下げ、除湿をおすすめします。

例2 季節性インフルエンザの注意

温度 13.0℃ 湿度 40%
注意
インフル
アイコンが表示されます。

湿度が低い状態です。
季節性インフルエンザに注意しましょう。
環境の改善には、加湿をおすすめします。

注意項目について

■熱中症
温度と相対湿度の関係から算出した暑さ指数（WBGT）に基づいて、熱中症の注意レベルが「厳重警戒」「危険」に達した場合、注意アイコンを表示します。
※WBGT（単位：℃）は一般的な気温とは異なります。

日常生活における熱中症予防指針

注意レベル WBGT 値(℃)	注意すべき 生活活動の目安	注意事項
注意 25℃未満	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが、激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。
警戒 25～28℃	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に充分に休息を取り入れる。
厳重警戒 28～31℃	すべての生活活動でおこる危険性	外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
危険 31℃以上		高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。

（出典：「日常生活における熱中症予防指針」Ver.3 日本生気象学会 2014）

■季節性インフルエンザ

季節性インフルエンザの流行には絶対湿度（体積1立方メートルの空気中に含まれる水蒸気の量）が関係しているとした仙台市庄司内科小児科医院庄司眞医師の論文を参考に、低温で空気が非常に乾燥した環境（＝ウイルスが生存しやすい環境）となった場合、注意アイコンを表示します。
※1 本製品はインフルエンザ感染を完全に防止できる製品ではありません。
※2 注意表示にかかわらず、空気中にウイルスが存在していなければ感染しません。
※3 新型インフルエンザには対応していません。

■カビ・ダニ

一般的にカビやダニの生育に適していると言われる環境（温度25～30℃で湿度70%以上）となった場合、注意アイコンを表示します。

■食中毒

食中毒を引き起こす菌やウイルスが増殖しやすい高温多湿の環境（温度25℃以上で湿度80%以上）となった場合、注意アイコンを表示します。

※本製品は商取引や証明には使用できません。また、医療及び業務用製品ではありません。